

作者プロフィール

柚木 文夫氏 千葉県隊友会会員 習志野支部長 桧町陸幕 平成2年退官 1958年防衛大学卒
元防大山岳部監督 現自衛隊山岳連盟会長

十二ヶ岳・鬼ヶ岳－富士山を眺めて－

鬼ヶ岳と十二ヶ岳(奥河口湖から)



4月中旬、西湖北縁の山、十二ヶ岳(1683m)・鬼ヶ岳(1738m)を、富士山を眺めながら縦走した。

前夜は、西湖北岸の民宿に泊まり、山菜料理を堪能した。翌朝、宿の主人の好意で、文化洞トンネル入口の登山口まで送ってもらい、8時出発で毛無山への尾根道をたどった。雑木林が程なくカヤトに変わり、一汗かいて9時半、毛無山到着。振り返ると眼下に河口湖と西湖が輝き、富士山がひとときわ大きい。天気は最高である。



八ヶ岳の鎖場

毛無山から十二ヶ岳に続く岩尾根は、険しい岩稜の連続で人気の山である。ピークが10カ所(二ヶ岳～十一ヶ岳)あるとのことだが、とても数えている気持ち

の余裕がない。一步一步、慎重に手掛かり足掛かりを確かめながらの登り降り繰り返す。最後に鎖と鉄バシゴを伝



十二ヶ岳山頂

ってキレットの底まで下り、吊り橋を渡った後は、岩や木につかまって急坂を登りつめ11

時、ようやく十二ヶ岳山頂に到着した。目の下の西湖の濃紺色と白銀に輝く富士山のコントラストが絶妙だった。次いで、金山経由で鬼ヶ岳に向かうコース、頂上直下に10m近い垂直のクサリ場があり、団体さんの順番待ちにすっかり時間をとられ、金山到着が12時。予定の節刀ヶ岳往復を断念してそのまま鬼ヶ岳に向か

十二ヶ岳から望む鬼ヶ岳



った。岩場の登りに大汗をかき、鬼の角のような珍しい形の岩塔がある鬼ヶ岳の頂上到着が12時半。富士山展望を楽しみながらの遅い昼食休憩となった。13時、重い腰を上げてコースを南に取り、根場集落に向け下る。山頂からヤセ尾根を10分程下った所に、鬼ヶ岳の肩に相当するテラス状の雪頭ヶ岳がある。木立のない草原状のこの山頂広場からの富士山展望は、今日一番の絶景だった。西湖を足下に踏まえた雄大な富士が視界一杯に迫り、正に感動の光景だった。

後は視界のない樹林の中をひたすら下降し、根場到着は15時となった。

鬼ヶ岳・十二ヶ岳(奥河口湖から)

